

市民参画推進業務

(成田市リーダーシミュレーション)

報告書

平成 26 年 3 月 3 1 日

成田市

目次

■ イベント概要	3 ページ
■ インストラクション1 「選択と集中をめぐる葛藤！」	5 ページ
■ インストラクション2 「選択と集中を説明せよ！」	9 ページ
■ アンケート	13 ページ

■ イベント概要

○趣旨

成田市において市政への市民参加を促すことを目的に、特に若年層に向けて、市政への関心と理解を深める機会とする。

○形式

参加者は、現在の成田市で初めて予算編成を迎える1期目の市長になりきって、市の現状や課題、現在の取り組みを徹底的に学び、その上でなにが必要なのか、なにが求められているのか徹底的に議論し、考えぬきます。

イベントの最後には、市長になりきり、自らの政策を発表、質疑応答を行い行政運営・市長の仕事の厳しさを学びながら、市政への興味関心を促します。

○ファシリテーター

友田 景 氏

ビズデザイン株式会社取締役 (元 大阪府・柏原市議会議員)

○日時 2014年 3月 30日 (日)

○場所 成田市役所

○観覧者 1名

○参加者 5チーム各4名、 合計20名



○参加者の構成

チーム1 成田新採組 成田市の2014年度採用予定者のチーム。

チーム2 N A A 成田国際空港株式会社の若者によるチーム。

チーム3 成田市成人式実行委員会 同委員会の若者によるチーム。

チーム4 成田高校 成田高校卒業生ほかの若者によるチーム。

チーム5 個人参加チーム 成田市議へのインターン生ほかの若者によるチーム。



インストラクション1

■ 「選択と集中をめぐる葛藤！」

○課題

現在、成田市で打ち出している政策を大きく4つの政策テーマ、【環境】【経済】【福祉】【教育】の中で最も重点的に予算を配分すべきと考えたものを1つ選択する。その中で、なぜその政策を選択したのか、その理由を記述する。

○各チームの最終選択政策テーマと、チーム内でのテーマ選択人数

チーム番号 (最終的に選択した政策テーマ)	環境	経済	福祉	教育
チーム1 (経済)		2人	1人	1人
チーム2 (教育)				4人
チーム3 (経済)		3人		1人
チーム4 (経済)		4人		
チーム5 (経済)		3人	1人	



○政策テーマごとの選択理由

【経済】

- ・ 成田市のアドバンテージである、農業をメインにもっと経済を発展させることができる。
アイデアのある若者中心のベンチャーと、ノウハウのある農家が協力し新商品を開発し、市も協力してプロデュースをすればよいのではないか。
- ・ ①世界との玄関として、市民全体がその利益を享受できるシステムを構築する。
②活動しやすく、機能的なインフラを整備し、都市基盤、都市環境を整える。
③首都圏と空港の交通手段を増やす。現状、バス、電車があるが、タクシーやミニバスなど、機動力のある交通網を確立する。
④「③」に付随し、成田市ならどこからでも空港にアクセスしやすいという環境を整え、売りだしていけば、ビジネスマンや外人などの定住者も増えるのではないか。
- ・ 国家戦略特区だから。しかし国家戦略特区がそもそも何か住民が理解していないのでは？
- ・ 成田市は面積が広いのでそれを活かせばよいと考えた。企業や工場を誘致し、雇用の安定化を図る。
- ・ 流通の一大拠点としての成田市。インフラの拡充。
- ・ 羽田空港のハブ化により、成田空港は海外への窓口としてのアドバンテージが減少した。成田空港を選んでもらうために、成田市全体を観光都市化し、単なる海外への通過点というイメージを払拭する（特に対外国人旅行者）。
- ・ 観光客は年間1000万人を超えている。これをもっと利用すべき。
- ・ 経済がもっと発展すれば、外国人、若者、高齢者など、すべての住民の利益になる。
- ・ 成田は「KABUKI」がある。
↳外国人向けにイベントなどのプログラム化し、観光にもっと盛り込んでいく。
- ・ 成田山中心に景観統一条例を作り、街ごと観光地化する（京都を参考に）
↳参道沿いの町並みに統一感を持たせる。
- ・ 成田市は空港の存在で経済的にも様々な恩恵を享受している。しかし、今後は羽田空港の国際化などで厳しい状況が続く。成田市の経済の発展のために、空港抜きでの予算を考える。
- ・ 福祉にしても教育にしても、経済と大きな関わりがある。
市民が安定して生活できるようにするには、雇用の安定はもちろん、セーフティネットの充実が不可欠。その意味でも、福祉、教育のために経済を重視したい。

【福祉】

- ・ 経済が比較的潤っているので福祉の面にももっと予算を回していいのではと思う。
病院やそこまでの交通手段などの充実をしてほしい。
高齢者の人口分布を集中させるべき？インナー、ミドル、アウターの明確化。
- ・ 高齢化社会への変化のため、避けては通れない政策であるとともに長期的な VISION でみて、人口増加による発展が見込め、うまく整理していけば無駄も削減できる。

【教育】

- ・ 成田市は合併により、大きな土地を得た。しかしその土地で農業をしている人は、高齢者が多く、このまま後継者がいなければ今後、耕作者がいない土地がどんどん増えていくだろう。そのために、農家の方々のノウハウを若者へと引き継いでいく仕掛けをしていくべきだと考えた。
- ・ 長期的な視点で考えればこの政策が一番成田市のためになるのでは。比較的時間のある高齢者が、農業や文化の面で小学生などに教育や教室を開くなどのイベントを行う。
- ・ 成田市の繁栄を考えたときに市民と共に発展していく形、成田で生まれ、育ち、働くという定住化を進め、税をしっかりと納められる体力のある住民を増やしていくことこそ重要だと考えた。そこで成田の特色である国際性、伝統文化、農業などの仕事を体験できるような教育を行うことにより、次世代を担う子供たちにより、成田を知ってもらえるのではないかと考えた。
- ・ 20年後を考えた時にすべての項目に影響力があるため。
- ・ 教育がすべてを担っている。海外旅客や空港従業員などを招いての地域おこしイベント。海外でも渡り合える人材育成。国際都市化。
- ・ 20年後を想定して、最も早めに手を打つべきもの。人口の変化への対応。セカンドキャリア、セカンドライフの安定。

インストラクション 2

■ 「選択と集中を説明せよ」

○課題

「成田市長として、議会での最適な演説文案を考えてください。考えた演説文案を、市長になったつもりで演説してください。」(グループごとに代表者が発表。)

○チームごとの選択内容と演説内容抜粋

●チーム 1 成田新採組 成田市の 2014 年度採用予定者のチーム

▶ 選択した政策テーマ : 経済

- ・私は成田市を、「ひまわり畑のような明るくいいきと、たくさんの世代が根付くまち」にしたいと考えています。
- ・しかし現状の成田市は、「働く場所が少ない上に偏っており、少子高齢化により働き手も少ない」という状態であります。
- ・現状を踏まえると、成田市の一番大きな問題は、「若者が少なくなっている」ことだと考えます。
- ・そこで、この問題を解決する為に、私が取り組むのは、「企業を誘致し、まずは若者が住みやすいまちを目指し、税収を増やし、そこから徐々に高齢者への福祉に波及させていく」ということです。私は、いまお話しした内容を必ず実行します。



●チーム2 NAA 成田国際空港株式会社の若者によるチーム

▶選択した政策テーマ : 教育

- ・私は成田市を、「“生涯教育都市”としてブランドを持ったまち」にしたいと考えています。
 - ・しかし現状の成田市は「義務教育以降の教育機関が少ない」という状態です。
 - ・現状を踏まえると、成田市の一番大きな問題は、「専門性に富んだ教育基盤を整っていない」ことだと考えます。
 - ・そこで、この問題を解決する為に、私が取り組むのは、「①カリキュラムから刷新された新規大学の創設 ②企業と連携をとり、就職率の向上につなげる。」ということです。
- 私は、いまお話しした内容を必ず実行します。

●チーム3 成田市成人式実行委員会 同委員会の若者によるチーム

▶選択した政策テーマ : 経済

- ・私は成田市を、「自然豊かな地を活かして行きたい」と考えています。
 - ・しかし現状の成田市は、「農業に関心がなく、特産品がこれといってない」という状態です。
 - ・現状を踏まえると、成田市の一番大きな問題は、「若者が農業に関心がなく、また農業自体が伝わっていない」と考えます。
 - ・そこで、この問題を解決する為に、私が取り組むのは、「義務教育の中に農業に携わる方の話を聞かせてもらう時間を盛り込み、農家同士で組合をつくり、市が援助する。」ということです。
- 私は、いまお話しした内容を必ず実行します。

●チーム4 成田高校 成田高校卒業生ほかの若者によるチーム

▶選択した政策テーマ : 経済

- ・私は成田市を「遠くても逢いに行きたい彼」にしたいと考えています。
- ・しかし現状の成田市は「(市に) 魅力が足りない」という状態です。
- ・現状を踏まえると、成田市の一番大きな問題は、「市の魅力不足（観光資源の不足、既存施設の魅力不足）」と考えます。
- ・そこで、この問題を解決する為に、私が取り組むのは、「①成田市の参道の店同士に、地元企業とのタイアップをマッチングした上で（例えばうなぎ専門店とパン製造業をマッチングして新商品“うなぎパンケーキ”を創るなど）、投票によって競っていただく ②歌舞伎座を創設し、歌舞伎を祭りや催し物に活用、外国人にも歌舞伎観劇を体験してもらおう。」ということです。

●チーム5 個人参加チーム 成田市議へのインターン生ほかの若者によるチーム。

▶選択した政策テーマ : 経済

- ・私は成田市を「豊かな経済で、福祉も含めて発展していく街」にしたいと考えています。
- ・しかし現状の成田市は「空港などの税収によって、何とか維持できている。」という状態です。
- ・現状を踏まえると、成田市の一番大きな問題は、「福祉などに力を入れるために財源をいかに確保するか。」と考えています。
- ・そこで、この問題を解決する為に、私が取り組むのは、「①空港の発展（ex.サービスの充実、荷物の輸送代行、アウトレット・レジャー施設創設など） ②「①」の実現による雇用の安定」ということです。

私は、いまお話しした内容を必ず実行します。

○投票結果

優勝 成 田 高 校 成田高校卒業生ほかの若者によるチーム。

準優勝 N A A 成田国際空港株式会社の若者によるチーム。

チーム 成田高校



チーム NAA

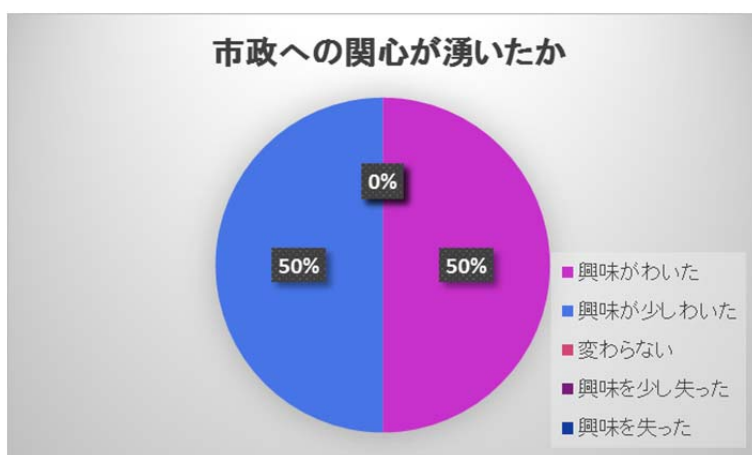


■ 参加者アンケート結果

【1】今日のプログラムを通じて、市政への興味がわきましたか？

回答	人数	割合
興味がわいた	10	50%
興味が少しわいた	10	50%
変わらない	0	0%
興味を少し失った	0	0%
興味を失った	0	0%

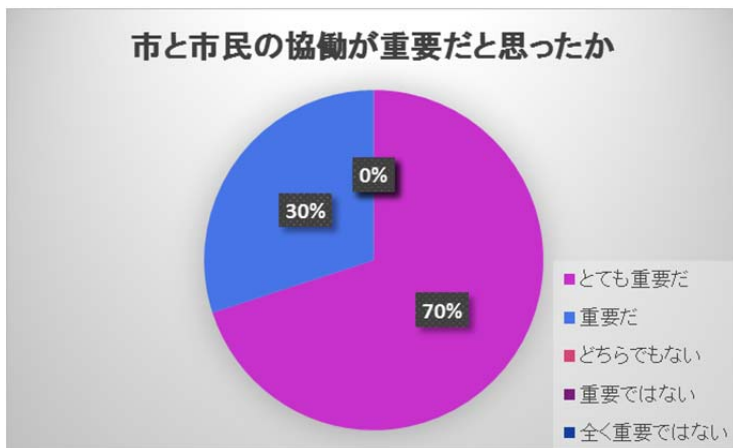
回答数
20



【2】今日のプログラムを通じて、市と市民が協働することを重要だと感じましたか？

回答	人数	割合
とても重要だ	14	70%
重要だ	6	30%
どちらでもない	0	0%
重要ではない	0	0%
全く重要ではない	0	0%

回答数
20

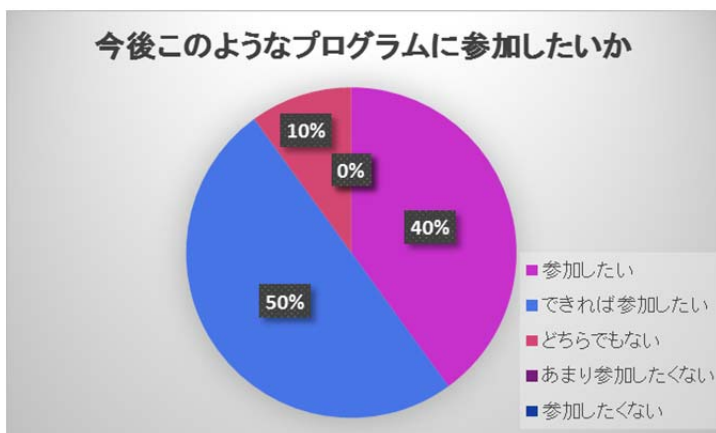


【3】 今日のような市政やまちづくりに興味を持ってもらうようなプログラムがあれば、

参加したいですか？

回答	人数	割合
参加したい	8	40%
できれば参加したい	10	50%
どちらでもない	2	10%
あまり参加したくない	0	0%
参加したくない	0	0%

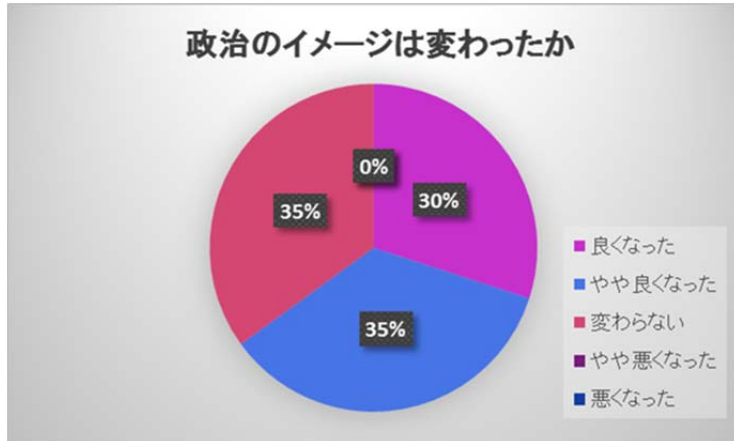
回答数
20



【4】今日のプログラムを通じて、政治に対するイメージが変わりましたか？

回答	人数	割合
良くなった	6	30%
やや良くなった	7	35%
変わらない	7	35%
やや悪くなった	0	0%
悪くなった	0	0%

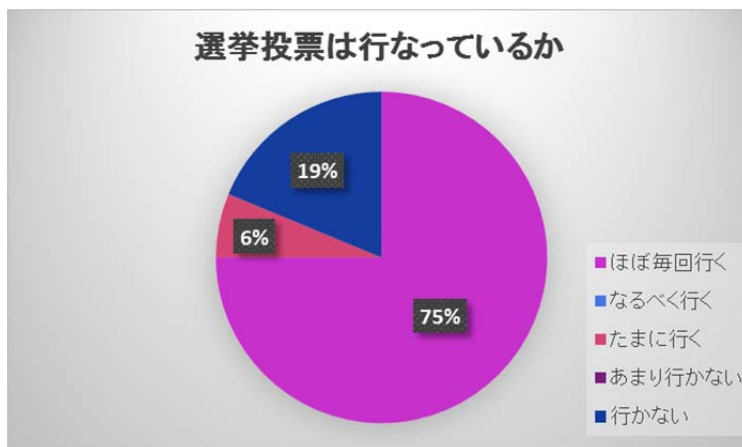
回答数
20



【5】これまで選挙投票には行っていますか？

回答	人数	割合
ほぼ毎回行く	12	75%
なるべく行く	0	0%
たまに行く	1	6%
あまり行かない	0	0%
行かない	3	19%

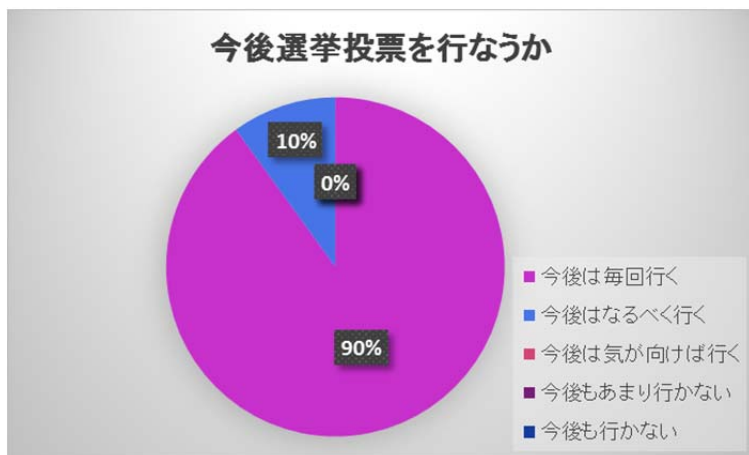
回答数
16(※未成年4)



【5-1】 今後の選挙投票には行かれますか？

回答		
今後は毎回行く	18	90%
今後はなるべく行く	2	10%
今後は気が向けば行く	0	0%
今後もあまり行かない	0	0%
今後も行かない	0	0%

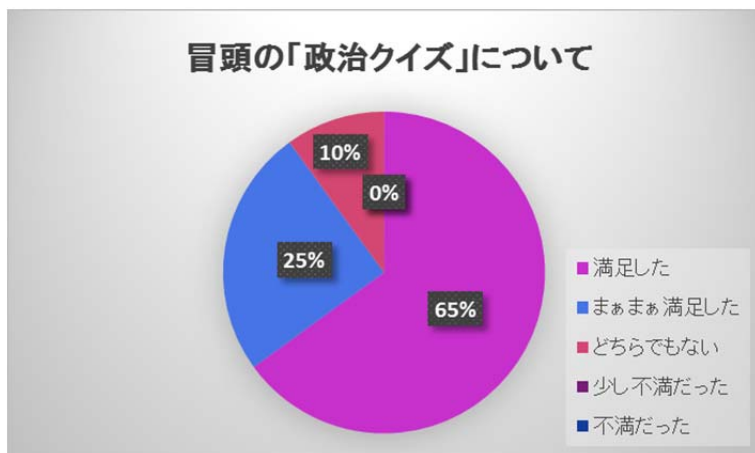
回答数
20



【6】 冒頭の「政治クイズ」をどう感じましたか？

回答	人数	割合
満足した	13	65%
まあまあ満足した	5	25%
どちらでもない	2	10%
少し不満だった	0	0%
不満だった	0	0%

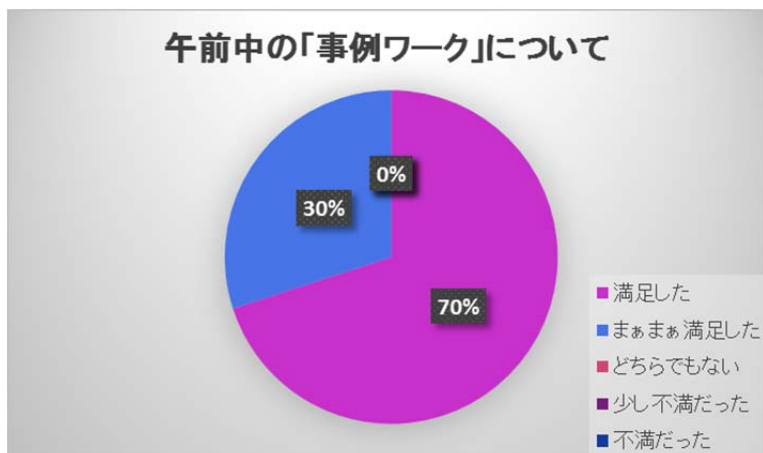
回答数
20



【7】午前中の「事例ワーク(議論や模擬演説)」をどう感じましたか？

回答	人数	割合
満足した	14	70%
まあまあ満足した	6	30%
どちらでもない	0	0%
少し不満だった	0	0%
不満だった	0	0%

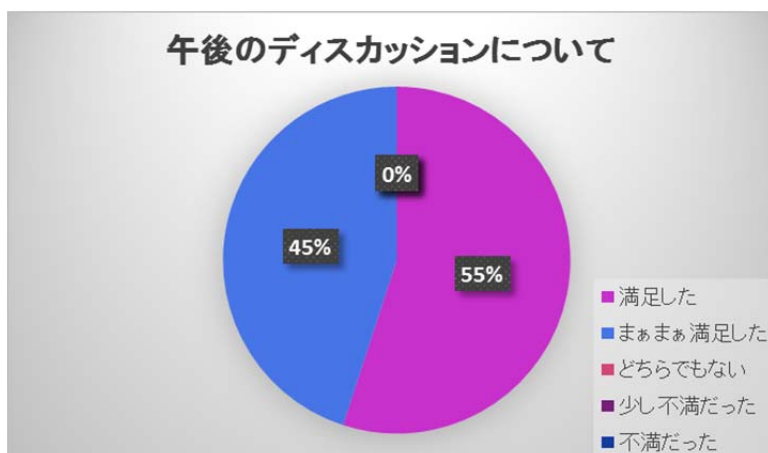
回答数
20



【8】午後からのディスカッション「若者の役割」をどう感じましたか？

回答	人数	割合
満足した	11	55%
まあまあ満足した	9	45%
どちらでもない	0	0%
少し不満だった	0	0%
不満だった	0	0%

回答数
20



【9】本プログラムの内容についてよい点がございましたら、ご記入ください。

- ・市民、特に若者と関わる機会は、市の職員としてもなかなかないものだと思うのでこれらのようなものがまたあればなと思った。
- ・政治あるいは行政について関心を持たせるという意味でとてもよいプログラムだったと思う。・市長という立場で市政に関わることが、ほんの少しでも体験できて良かった。
- ・「市長」というシチュエーション設定があったので、漠然とした議論にならずに済んだ。
- ・若者が政治についてディスカッションする場は多くないので、自分で考えて発言するというのは貴重な体験だと思う。
- ・限られた時間で構成・議論するプログラムでしたので、自分の欠点である「要領」も多少良くなったと思う。
- ・チームで話し合いの後、発表があってよかった。
- ・グループごとに分かれて発表しあうところがとても良かったと思う。
- ・チーム制にすることで話しやすく、自分の意見が言えた。
- ・グループワークが存分にできること。
- ・私たちに“考えさせる”ことが中心で、様々な意見をきけたことにより考えの幅が広がった。
- ・様々な人の意見が聞けて、とても意義深いものになった。
- ・普段は聞けないような市民（学生）目線の話が聞けた点。
- ・考えさせられる内容だった。久しぶりに頭を動かして良かった。
- ・ファシリテーターの方から聞いた体験談。
- ・議論の時間が多くあった点。
- ・とてもやりやすい雰囲気であった点。

【10】本プログラムの内容について悪い点がございましたら、どうぞご遠慮なくご記入ください。

- ・やじとばしたかったです。

- ・市長の演説の政策をあまり掘り下げなかったので、「楽しい」くらいでとまりました。
- ・楽しみたい人はそれでいいでしょうしもっとハイレベルなものを求めている人には物足りないかもしれません。
- ・テーマが難しい